



バヌアツ

Republic of Vanuatu



14. 国名:バヌアツ共和国(Republic of Vanuatu)

① 概要

政治的立場	1980年英国およびフランスから独立
首都	ポートビラ(Port-Vila)
人口	218,519人(2009年推計)
主要言語	ビシュラマ語(ピジン語)・英語・フランス語(いずれも公用語)、そのほか100以上の地域言語が各地で使用されている。
識字率	74%
国土面積	12,189平方キロメートル
排他的経済水域	68万平方キロメートル
天然資源	マンガン、広葉樹林、魚
GDP(PPP)	9.0億米ドル(2008年推計)
主要産業	観光業、農業
輸出額	4,227百万バーツ(4,362万米ドル)(2008年アジア開発銀行)
主要輸出品	コプラ、牛肉、ココア、木材、カヴァ、コーヒー
輸入額	29,021百万バーツ(2億9,949万米ドル)(2008年アジア開発銀行)
主要輸入品	機械類、食糧、燃料油
公式通貨	バーツ(vatu:自国通貨)(1米ドル=96.9バーツ:2008年平均)

② 地理的状況

バヌアツ共和国は、80以上の島々がY字型に並ぶ列島である。オーストラリアの東1,750キロメートル、フィジーの西800キロメートルに位置する。

首都はポート・ヴィラで(Port-Vila)ある。エファテ島(Efate Island)にあり、29,356人程度(1999年)の住民がいる。二番目に大きな都市は、エスピリツ・サント島(Espiritu Santo)ルガンヴィル(Luganville)で、10,738人程度(1999年)の住民がいる。

教育およびビジネスにおいて使用される言語は、主に公用語の英語とフランス語とであり、1980年に独立する前には英国とフランスとによる共同統治が行われていたという過去を反映している。地元民達は、各地で総計100以上の地域言語を話す、ビシュラマ(Bislama)と呼ばれるパプア

ニューギニアやソロモン諸島におけるピジン語(現地化した英語)に似たものが、最も広く使用される言語となっている。英語およびフランス語と並んで、ビシュラマ語も公用語となっている。

③ 政治状況

バヌアツは1980年に独立した。独立以前にはニュー・ヘブリデス(New Hebrides)と呼ばれ、イギリスとフランスとによる共同統治が行われていた。バヌアツはかつて英・仏が共同統治下を行ってきたことから、独立後も英系と仏系の政党が政権争いを繰り返して内政は不安定な状態が続いてきた。

国家元首は、大統領である。大統領は、国会議員および地方公共団体首長によって構成される選挙人団によって選出され、任期は5年である。現在の大統領は、2009年9月就任のイオル・ジョンソン・アビル(Iolu Johnson Abil)である。

政府首脳は、首相である。首相は、国会がこれを選出する。通常は、多数党党首または多数を形成した政党連合代表が首相に選出される。首相は3名の大臣を指名して内閣を構成する。現在の首相は、2008年9月就任のエドワード・ナタペイ(Edward Natapei)である。その他の閣僚は、首相によって指名される。

立法府は、任期4年議員52名によって構成される一院制国会である。議員任期は4年で、普通選挙によって選出される。前回選挙は、2008年9月2日に執行された。

国家首長会議(National Council of ChiefsまたはMalvatumauri)が、慣習、伝統的土地所有、バヌアツの伝統保持について、政府に助言する。

独立した司法機関は、裁判長1名とその他の裁判官3名から構成される。司法制度はイギリス法に倣っており、ごく一般的な事項については治安判事裁判所で扱う。

④ 経済状況

バヌアツは、これまであまり開発が進んでいなかったが、現在バヌアツ政府は改革努力を急ピッチで進めている。バヌアツは、他の太平洋島嶼国に比べてオーストラリアとニュージーランドに近いという、利点を持っている。フィジーが2006年の軍事クーデター以来政情不安定となり、ソロモン諸島の治安不安が続く中、これらに代わって、バヌアツを訪れるオーストラリアおよびニュージーランド観光客が増えてきている。また、バヌアツ産の牛肉は品質がよいと、日本市場で高い評価を得ている。これらの利点を生かすため、政府は観光客受け入れ体制整備を進め、農業(特に牛肉)生産の促進に力を入れている。バヌアツは、今後の経済発展が期待される国である。

⑤ 各産業分野の現状

(農業) 農業はGDPの約5%を構成しており、主な農産物は牛肉、コブラ、ココナッツオイル、ココア、カヴァである。これらの農産物は、世界の市場へ輸出される。バヌアツの牛肉は、日本市場でその品質を高く評価されている。地方人口の80%が自給自足的農業に従事している。

(建設業) バヌアツの建設業は比較的小規模で、いくつかの地元業者が道路その他のインフラ建設プロジェクトおよび家屋建設に携わっている。ホテル建設などの大規模建設事業については、外国の建設会社が行っている。

(金融サービス) バヌアツでのタックスフリー環境と有利な法令のため、オフショア金融センターとして成功を収めており、外国企業は 24 時間以内に登録を完了することが出来る。2006 年 12 月 31 日現在において、国際的企業を中心に総計 5042 社がバヌアツ金融サービス委員会(Vanuatu Financial Services Commission)に登録されていた。(また、バヌアツは船籍登録も行っており、水準の高さが評価されている。500 隻以上の船舶が登録され、バヌアツ船籍をもっている。)

(漁業) 現在のバヌアツにおける漁業は、規模が小さい。しかし、かつては魚処理工場があったが独立して数年後に閉鎖したという歴史的事実からして、今後の発展可能性が見込まれる。遠洋回遊魚漁は、地元市場を満たすために小規模に行われているだけである。養殖場の開発も奨励されており、2005 年に事業を開始したバヌアツ初のエビ養殖場が国内および国外の市場に養殖エビを出荷している。

(林業) バヌアツでは、商業利用の可能性のある森林は限られている。大規模な伐採や製材は行われていない。地元で伐採した木材を使って、家具を製造したり建設資材として利用したりしている。

(製造業) バヌアツにおける製造業は、比較希少規模で、そのほとんどは国内市場向けのものである。国内で製造されるものには、加工食品(パン類、アイスクリーム、チーズ、飲料)、プラスチック製品、小船、材木、家具、小型電気回路数種、衣料品がある。海外に輸出される製品には、バニラ、香辛料、サンダルウッド油の加工品がある。

(その他のサービス) 卸売り小売業、観光業関連事業(国内旅行代理店、ハイヤー業、観光案内業、レストランなど)、金融サービス事業(会計会社、銀行など)は、首都ポート・ヴィラに集まっている。

(観光業) 近年、観光業は国民経済に貢献し続けており、GDP の 17%を生み出している。そして、今後さらに発展する可能性を持っている。バヌアツ観光の宣伝と、近隣のフィジーやソロモン諸島における政情不安のため、バヌアツへの観光客は増加してきており、2006 年の観光客は 68,179 人となり、そのほかクルーズシップで立ち寄った人たちが 85,992 人に及んだ。観光客の多くはオーストラリアからで、ニューカレドニア、ニュージーランドがそれに次ぐ。2006 年 12 月に国際直行便がエスピリツ・サント(Espiritu Santo)島に来ることにより、さらに観光客が増えることが見込まれる

⑥ 輸出入・貿易関係

2008 年の輸出額は 4,362 万米ドルであり、主な輸出品は、コブラ、ココナッツオイル、カバ、牛肉、ココアである。同年の輸入額は 2 億 9,949 万米ドルで、主な輸入品は機械・輸送機器、燃料の潤滑油、食品、基本製造品、雑製品となっている。主な輸出国は、タイ、インド、ベルギー、ニューカレドニア、オーストラリアであり、主な輸入国は、オーストラリア、米国、日本、シンガポール、NZ、フィジー、中国である。

バヌアツは、貿易条件が有利になるいくつかの地域的貿易協定を結んでいる。太平洋島嶼国貿易協定(Pacific Island Counties Trade Agreement: PICTA)や、メラネシア諸国における輸出入免税を定めるメラネシア・スペアヘッド・グループ自由貿易地域(Melanesian Spearhead Group Free Trade Area: MSG-FTA)ほか、これにあたる。

また、バヌアツは南太平洋地域貿易経済協力協定(South Pacific Regional Trade and Economic Co-operation Agreement: SPARTECA)によりオーストラリアとニュージーランドへの無関税輸出が可能であり、「武器以外なんでも」構想により欧州連合(EU)への輸出も無関税である。現在、欧州連合経済協力協定(European Union Economic Partnership Agreement: EU-EPA)と世界貿易機構(World Trade Organization: WTO)についての交渉が進行中である。

⑦ 労働力・人的資源

バヌアツの人口の4分の3が農業または漁業のような第一次産業に従事している。工業従事者は、わずかに過ぎない。大半の熟練労働者は英語とフランス語とを話す。しかし、地方の未熟練労働者は、英語もフランス語もあまり上手くない。

バヌアツには新規事業に従事することが出来る半熟練労働者が十分におり、外国投資家は必要な能力を備えた労働者が地元にいる場合には、地元民を雇うことが義務づけられている。しかし、バヌアツ投資促進局(Vanuatu Promotion Authority: VPA)は、バヌアツ国民によっては満たされない労働力需要がある場合には、3年を限度として外国人の就労を許可する権限を持っている。だが、可能である場合は必ず現地労働者を訓練することが奨励されており、新たな投資家はバヌアツ投資促進局への投資提案提出書類の一部として地元労働者訓練計画を提出することを要求される。

承認された外国投資は、居住と専門能力・技術能力・管理能力を備えた外国人スタッフの労働許可を少なくとも二人分得ることが出来る。

1999年第13号バヌアツ国家訓練委員会法(Vanuatu National Training Council Act 1999 No.13)によって設立されたバヌアツ国家訓練委員会(Vanuatu National Training Council: VNTC)は、バヌアツにおける職業訓練について許認可権を有する政府機関である。この機関は、労働者を訓練し、それを労働市場に提供することにある。

労働法についていえば、バヌアツの最低賃金は「最低賃金および最低賃金理事会法(1984年42号法)(Vanuatu Minimum Wages and Minimum Wages Board Act 1984 No.42)」によって規定されている。全ての使用者および被用者は、賃金給与の4%を国家年金基金(National Provident Fund)に払わなければならない。労働争議を調停するための法律もある(労働争議法 1983年第3号法:Trade Disputes Act 1983 No.3)。

バヌアツの法定最低賃金は、一律20,000バーツ(2.01米ドル)である。

⑧ インフラストラクチャー

バヌアツのインフラストラクチャーは、それなりに整備されている。ミレニアムチャレンジ基金により、バヌアツは八島の、道路、港湾、滑走路、倉庫を含む重要運輸インフラを整備することとしている。

ディーゼル・水力発電と、上水道は、都市部では安定的に供給されている。また、オフショア金融センターの需要に応えるため、電信データ通信システムは充実している。国内国際電信サービスは、民間企業であるテレコム・バヌアツ株式会社(Telecom Vanuatu Ltd.: TVL)によって提供されている。バヌアツの電話網は全面的に更新され、回線のデジタル化が完了している。さらに、テレコム・バヌアツは、地方も含む全国にデジタル回線電話網を整備する事業を推進している。テレコム・バヌアツは、インターネット、国際データ通信、携帯電話サービス業者でもある。パシフィック・データソリューションズ(Pacific Data Solutions)も、e コマースサービスを提供している。

首都ポート・ヴィラ(Port Vila)から国際航空便は充実している。オーストラリアとニュージーランドへはバヌアツ航空(Air Vanuatu)が、フィジーへはパシフィック航空(Air Pacific)が、ニューカレドニアへはエアーカリン(Aircalin)が飛んでおり、2006年12月には、エスピリツ・サント島ルーガンヴィルからオーストラリアのブリズベンとソロモン諸島までの直行便をソロモン航空(Solomon Airlines)が就航させる。国営航空会社であるバヌアツ航空は、オーストラリアとニュージーランドとからの観光客増大を見込んで、増便の予定である。バヌアツ航空は国内航空サービスも提供しており、30の国内空港を結んでいる。

国際海運7便が、コンテナおよび一般貨物の国際運輸サービスを提供している。ほとんどが月一回のペースでの運行で、全ての航路が他の太平洋島嶼諸国の港を経由しつつオーストラリアか東南アジアへ向かう。タンカーや車両運搬船も、首都ポートヴィラの主要港に寄港する。

ポート・ヴィラとルーガンヴィルとの両港では、常温および冷蔵の20フィート・コンテナを取り扱うことが出来る。しかし、地方の中心地へ向けての荷物は、これらの港で開封されてより小さな荷物として送られる。

沿海での海運業は、多数の民間会社によって提供されている。しかし、それらの船舶の積載能力は、多くの場合100トン以下である。小さな港ではコンテナを扱うことが出来ず、こうした港では多くの場合、波止場がない。小さな港から主要港への海運サービスは頻繁だが、遠隔地の港への海運はまれである。また、沿海での海運コストは高い。

多数の国際的銀行や国内銀行であるバヌアツ国立銀行(National Bank of Vanuatu)が、あらゆる種類の商業銀行サービスおよびオフショア銀行サービスを提供している。また、国際標準会計や金融アドバイスを提供する多様な会社がバヌアツで事業を展開しており、この点では産業発展の基盤が整っているといえる。

バヌアツのポートヴィラ周辺には、教員養成学校、農業学校、法律に特化した南太平洋大学という、3つの高等教育機関がある。質の高い初等中等教育機関がバヌアツのほとんどの場所にある。

⑨ 投資政策・法令

総合改革計画(Comprehensive Reform Programme)のもと、政府は外国投資を奨励し歓迎する政策をとっている。

政府は、外国投資法 1998 年第 15 号(Foreign Investment Act, No.15 1998)を制定し、外国投資にとって有利な条件を提供した。この法の下では、バヌアツ投資促進局 (Vanuatu Investment Promotion Authority: VIPA) が全ての外国投資の促進と便宜供与とに責任を持っている。

全ての外国投資は投資促進局の事業許可を得なければならず、質問および外国投資申請については同局に連絡を取らなければならない。投資申請提出から最終承認がでるまで、およそ 3 週間かかる。しかし、小さな事業はバヌアツ国民にのみ認められる。例えば、小規模の食品加工業や、カフェ・バー、小規模ビルサービス事業、10 室未満のホテル・モーテル経営は、国民にのみ認められる。その他の規制事業については、投資促進局から情報を得ることが出来る。

投資優遇措置は、投資案件ごとに検討される。バヌアツにおける第一の投資優遇措置は、法人税、収入税、固定資産税、非キャピタルゲイン税の免除である。さらに、バヌアツには源泉徴収税はなく、どの国とも二重課税に関する条約を結んでいない。10 億バーツを超える全ての投資は、完全に免税である。

⑩ 土地利用

バヌアツの土地の約 90%が、伝統的土地所有者に帰属する。それ以外の土地のほとんどは政府所有の土地であり、そのほとんどがポートヴィラとルーガンヴィルの都市部にある。

土地の賃借は、政府からでも伝統的土地所有者からでも可能である。しかし、伝統的土地所有者との賃借交渉の前に、土地省(Department of Land)から交渉許可証を得なければならない。土地の賃貸借契約は 75 年を限度とするが、契約更新が可能である。

土地省の内部組織である土地利用計画事務所(Land Use Planning Office)は、土地の性質、土地所有者、地勢、現在の利用状況、環境問題について膨大な情報を蓄積している。このデータベースは、事業のための土地利用を考える外国投資家にとっては、有用な情報源である。

⑪ 税制

バヌアツ政府は、製造加工業のための財の輸入については関税の支払いを免除し、バヌアツ関税 (Vanuatu Customs Tariff) 別表三の第一項経済的救援にあるように下記の特定の輸入品については関税率 5%を下回らない範囲で税率を下げる事が出来る。

- V X.1 製造業加工業のための財の輸入 (完全な免除)
- V X.3 農業、園芸、家畜飼育、林業のための財の輸入
- V X.5 観光開発事業のための財の輸入
- V X.6 鉱山採掘・鉱物資源精製のための財の輸入
- V X.7 漁業機器の輸入

免税申請は、事業開始前に行うことが望ましい。免税は、輸入される財が、バヌアツ政府が定める政策ガイドラインに沿ったものであることが条件となる。

バヌアツ政府は、製造業、観光業、農業における新規投資を特に歓迎する。

(付加価値税)

付加価値税(Value Added Tax: VAT)は、1998 年法律第 12 号付加価値税法(Value Added Tax Act)により、消費を対象とする課税である。税率は 12.5%である。

年間 400 万バツ以上の特税対象売り上げがある場合には、付加価値税のための登録をしなければならない。

⑫ 投資機会

バヌアツのインフラストラクチャーはそれなりに整備されており、観光開発の余地がある。周辺国の政情不安・治安不安から、とくに距離的に近いオーストラリアやニュージーランドからの観光客が増加しており、バヌアツの観光業が活況を呈している。フィジーは軍事独裁政権となっており、民主化への道筋も見えない状況にある。ソロモン諸島の治安は既に回復しているが、同国の治安への不安感が残っている。トンガの暴動は一過性のものだったが、暴動の印象はまだ消えていない。バヌアツの観光業は、引き続き有利な状況にある。

⑬ ビジネス支援体制

バヌアツ商工会議所

(Chamber of Commerce and Industry of Vanuatu)

バヌアツ商工会議所は、バヌアツにおける民間部門の利益を代表する組織として 1995 年に設立された。同会議所は、経営、販売、ビジネスプランニング、輸出市場など多様な分野について、事業経営のための訓練コースを提供している。また、バヌアツにおける他の団体のためにも、訓練コースを提供している。

協同組合バヌアツ人ビジネス開発サービス省

(Department of Co-operatives and Ni-Vanuatu Business Development Services: DCNVBDS)

この省は、共同ビジネス開発サービス省とバヌアツ人ビジネス開発センター省(Department of Ni-Vanuatu Business Development Center)との合同によって出来た組織の新名称である。

同省は、小規模事業経営に関する訓練コースを提供し、バヌアツ人事業家に個別の助言を提供し、バヌアツ人事業家に対する小口金融を提供するバヌアツ人小規模金融計画(ni-Vanuatu Micro Finance Scheme)を運営している。ポート・ヴィラにある同省へ直接連絡を取るか、各地にある出張所をとおして連絡を取るかすることが出来る。

バヌアツ投資促進局

(Vanuatu Investment Promotion Authority: VIPA)

同局は、法律によって設置された政府機関であり、全ての投資優遇措置を扱い、バヌアツにおける新たな投資と投資機会とを監督する。投資家に対して、事業開始あるいは拡大を支援するために各種サービスを提供する。

小口資金事業開発持続のためのバヌアツ女性ネットワーク

(Vanuatu Network of Women for the Development and Sustainability of Microfinance institutions)

この団体は、不利益を被っている女性に対して、小規模資金、収入機会、関係者への訓練を提供している。

バヌアツ地方開発訓練センター連盟

(Vanuatu Rural Development Training Centres Association: VRDTCA)

同連盟は、バヌアツの全地方訓練所に対して、技術支援と助言とを提供している。

⑭ カントリーリスク

バヌアツ自身もカントリーリスクを抱えている。イギリス系政党とフランス系政党との政争が続いており、社会的に不安定な状態である。

⑮ 金融サービス

ANZ銀行バヌアツ支店

(ANZ Bank (Vanuatu) Ltd.)

バヌアツには、ANZ 銀行支店が 2 店舗ある。一つはポートヴィラにあり、もう一つはエスピリツ・セント島のルーガンヴィルにある。同行は、あらゆる種類の商業銀行サービスを提供している。

ウエストパック銀行バヌアツ支店

(Westpac Bank, Vanuatu)

ウエストパック銀行バヌアツ支店は、2 箇所にある。一つはポートヴィラにあり、もう一つはルーガンヴィルにある。同行は、あらゆる種類の商業銀行サービスを提供する。同行が提供する金融以外のサービスには、助言、ファンド管理のような投資サービス、プロジェクトおよびアドバイスサービスがある。

バヌアツ国立銀行

(National Bank of Vanuatu)

この銀行は、バヌアツ政府が完全所有している。同行は、全ての種類の商業銀行サービスを提供しており、各地域に合計で 19 の支店を持っている。

⑩ 情報入手先

バヌアツ投資促進局

(Vanuatu Investment Promotion Authority)

Private Mailbag 9011, Vanuatu Laguna Building, Port Vila, Vanuatu

Phone Line 1: (+678) 24096, Phone Line 2: (+678) 24441; Fax: (+678) 25216

Email: investment@vanuatu.com.vu

Website: www.investinvanuatu.com

バヌアツ商工会議所

(Chamber of Commerce and Industry of Vanuatu)

PO. Box 189, Port Vila, VANUATU

Phone: (+678) 27543; Fax: (+678) 27542

Email: vancci@vanuatu.com.vu

Website: www.vanuatuchamber.com

バヌアツ政府

(Government of Vanuatu)

Website: www.vanuatugovernment.gov.vu